



2006年度  
分科会 活動報告書  
(中間報告)

2007年4月11日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構  
情報システム・バックアップオフィス分科会

## <はじめに>

特定非営利活動法人 事業継続推進機構は、国内外の個人及び企業、政府その他の団体に対して、災害、事故、事件等のリスクの発生時における事業継続（BC）の取組みの推進に資する事業を行い、経済・社会的被害の軽減及び地域社会における災害・危機管理対策の充実を図り、これらの活動を以って、国及び各地域の安全・安心・発展に寄与することを目的とし、2006年6月20日に設立されました。

「情報システム・バックアップオフィス分科会」は当機構の分科会のひとつとして、企業をはじめとする組織体の事業継続を直接支える活動基盤である、情報システムや、活動そのものを行う場所であるオフィス（事務所スペース）に必要な対策（バックアップ等）を検討すべく、設置されました。本分科会では、現状調査・分析を通じ、課題解決に向けた各種研究活動を推進することを目的として活動を展開して参りました。設立当初は「バックアップオフィス分科会」の活動人員が数名と少なかったため、「情報システム分科会」と合同で開催して参りましたが、両分野の対策には共通の課題や連携して取り組むべき事項が多く、意見交換や情報共有を行なうことが双方に利する事が多く出てきたために、現在に至るまで一体となり活動してきております。

初年度（2006年度）の主な取り組みとしては、以下の事業を展開して参りました。

- (1) アンケート調査の策定【目的：対策の現状調査、課題洗い出し、テーマ絞込みのために実施】
  - ・2007年2月に実施の事例調査・分析分科会発行のアンケートに盛り込み
  - ・2007年度分析予定
- (2) 小冊子の作成【目的：普及・啓発】
  - ・オフィスや情報システムにおける被害想定（起こり得る事象）の整理と対策の洗い出し
  - ・ドラフト完成
- (3) プレゼンテーション【目的：情報共有】
  - ・分科会委員による事例紹介、製品・サービスに関する情報共有を実施

2007年度は本年度に実施したアンケート結果の分析や個別企業へのヒアリングの実施と小冊子の完成を目指します。また、各分科会メンバーによる事例紹介、情報システム・バックアップオフィス分野における活動テーマの絞込みや、対策に関する具体的な研究を行うことで、企業等の事業継続に必要な対策の普及・啓発に寄与する活動を展開して行く予定です。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構  
情報システム・バックアップオフィス分科会員一同

<目次>

1．初年度（2006年度）の活動状況

（1）分科会メンバー構成

（2）活動目的

（3）分科会の開催

2．活動実績について

3．2007年度の活動目標

4．分科会メンバーリスト

<添付資料>

アンケート用紙（ ）

小冊子「企業を守る災害対策のすすめ」(案)

分科会 議事録（全11回）

（ ）アンケートは2007年2月に実施済

## 1. 初年度（2006年度）の活動状況

### (1) 分科会メンバー構成（2007年3月31日時点）

座長：伊藤 毅（富士通株式会社）

副座長（情報システム分科会）：大塚 純一（日本アイ・ピー・エム株式会社）

副座長（バックアップオフィス分科会）：関山 雄介（大成建設株式会社）

事務局：向井 健太郎（富士通株式会社） 砂原 健利（富士通株式会社）

情報システム分科会委員 31名・・・（4.分科会メンバーリスト参照）

バックアップオフィス分科会委員 13名・・・（4.分科会メンバーリスト参照）

座長、事務局 3名

分科会メンバー計 47名

### (2) 活動目的

#### 情報システム分科会

- ・国内外の個人及び企業、政府その他の団体における事業継続を支える情報システムの現状及び課題の調査分析と、課題解決に向けた各種研究活動の推進

#### バックアップオフィス分科会

- ・国内外の企業において事業継続を支えるバックアップ・オフィスの現状調査分析を通じ、必要な機能/要素を洗い出し、それに対する現状の問題点/課題解決に向けた各種研究活動を推進

#### 共同開催について

- ・設立当初は「バックアップオフィス分科会」の活動人員が数名と少なかったため、「情報システム分科会」と合同で開催して参りましたが、両分野の対策には共通の課題や連携して取り組むべき事項が多く、意見交換や情報共有を行なうことが双方に利する事が多く出てきたために、現在に至るまで一体となり活動してきております。

### (3) 分科会の開催（全11回）

	日付	幹事	開催場所	参加人数
第1回	2006/05/10	BCAO・富士通	豊島区立勤労福祉会館	14名
第2回	2006/06/07	富士通	富士通ソリューションスクエア（蒲田）	13名
第3回	2006/07/05	日本IBM	日本アイ・ピー・エム 箱崎事業所	15名
第4回	2006/08/02	大成建設	大成建設本社ビル（新宿）	13名
第5回	2006/09/15	富士通	富士通ソリューションスクエア（蒲田）	15名
第6回	2006/10/04	日本電気	森永プラザビル（田町）	17名
第7回	2006/11/01	日立製作所	日本生命丸の内ビル	14名
第8回	2006/12/06	富士通	富士通ソリューションスクエア（蒲田）	18名
第9回	2007/01/11	富士通	富士通ソリューションスクエア（蒲田）	17名
第10回	2007/02/08	日本IBM	日本アイ・ピー・エム 箱崎事業所	15名
第11回	2007/03/08	大成建設	大成建設本社ビル（新宿）	11名

## 2. 活動実績について

### (1) アンケートの実施に向けた準備・・・(添付資料)

- ・活動目的：1. 各企業（主に中小企業）におけるBCへの対策状況および問題点を把握し、情報システムおよびオフィス分野における理想的な対策の検討、調査結果に基いた課題・テーマを洗い出し、絞り込みを行なう。
- 2. 経営者に直接的に気付きを得てもらい、対策が必要であることを啓発する。

#### ・アンケートタスクフォースメンバーのご紹介

氏名	会社名
土橋 直通	エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社
関山 雄介	大成建設株式会社

- ・活動内容： 2006/08/02 ITBO 分科会によるアンケート項目の検討開始
- 2006/09/15 アンケートの枠組み・項目内容・調査方法等の概要の検討
- 2006/10/04 ヒアリング方法・項目を検討。アンケート案を作成  
(他委員会・分科会(調査・分析委員会、自然災害地域連携分科会)でもアンケートの計画があることが判明したため、アンケートを検討するタスクフォースを設置)
- 2006/11/01 アンケートタスクフォース(調整会議)にて検討
- 2006/02/01 アンケートの完成
- 2007/02/05 アンケートの実施(BCAO事務局より発送)
- 今後の予定 アンケート結果の分析、今後のスケジュールを検討

### (2) 小冊子の作成・・・(添付資料)

- ・活動目的：中堅企業(中小企業)の実際にご担当される方や経営層に事業継続活動上、情報システムやバックアップオフィスの確保の必要性を理解していただく(BCの普及・啓発)

#### ・リーダー/サブリーダー/メンバーのご紹介

グループ	リーダー	サブリーダー	メンバー
Aグループ (全体とりまとめ)	長嶋 和広 株式会社ワイルドシアターズ	池田 竜隆 株式会社ワイルドシアターズ	座長、副座長、事務局 (5名)
Bグループ (バックアップオフィス部分)	羽仁 洋 大和ハウス工業株式会社	植村 明生 みずほ証券株式会社	バックアップオフィス分科会 委員(27名)
Cグループ (情報システム部分)	木村 義昭 日本ビジネスコンピュータ株式会社	高屋 正裕 日本電気株式会社	情報システム分科会 委員(9名)

- ・活動内容： 2006/11/01 作成リーダー・役割を明確化
- 2006/12/06 小冊子の構成・書式・表現・ボリューム等を明確化
- 2007/01/11 小冊子案に対する検討
- 2007/02/08 全体構成の見直しおよび案に対する検討
- 2007/03/08 小冊子案に対する検討
- 2007/04/05 企業における災害対策のすすめ～両分科会として完成
- 今後の予定 理事会報告のうえ、配付(07年7月予定)

(3) 分科会委員による取り組み事例の発表（プレゼンテーションの実施）

- ・活動目的：BCに関する情報の共有・新たな気付きのための会を目的とし、分科会委員による自社商品のPR、取り組み事例等のプレゼンテーションを実施
- ・活動内容：以下プレゼンテーション発表を実施

No	日付	タイトル	発表者	所属	概要
1	2006/11/01 (第7回会合)	BC/DRのソリューション紹介	長嶋 和広・池田 竜隆 株式会社リトル・シア・カブズ	情報システム分科会・ バックアップ・オフィス分科会	事例紹介 ソリューション紹介
2	2006/12/06 (第8回会合)	システムセンター移転および災害対策 システム構築事例の紹介	山浦 政弘 日本アイ・ビー・エム株式会社	バックアップ・オフィス分科会	事例紹介 ソリューション紹介
3	2007/01/11 (第9回会合)	災害に対する日立の取り組み とBCMソリューション	永江 豊 株式会社日立製作所	情報システム分科会	事例紹介 ソリューション紹介
4	2007/02/08 (第10回会合)	本社機能移転の選択と判断	川村 丹美 株式会社シーエス	バックアップ・オフィス分科会	事例紹介

発表内容に関する質疑応答では意見交換等により活発な議論を実施

(4) BCAO 事業継続初級管理者受験用テキスト（ITBO 分科会部分）の作成

(4-3 重要リソースへの対策のポイント)

- P.69 : バックアップオフィス/バックアップ情報システムセンターの準備による対策の構築
- P.70 : 情報システムのバックアップによる対策の構築
- P.71 : バックアップサイト・情報システム対策における共通課題、記載内容の追加

(5) 情報共有

- ・メーリングリスト/ポータル（ブリーフケース）活用による情報、資料の共有

### 3. 2007年度の活動目標

(1) 活動テーマ（分科会事業）の検討

- アンケート実施（集計結果の分析）による気付き
- 小冊子作成による気付き
- より気付き・テーマを洗い出し、絞り込む。

(2) アンケート分析と高度化への取り組み

- アンケートの精緻化
  - 定点観測が可能となるよう実施時期・方法等を検討
  - 前回実施した際の気付き（修正点含）の反映
- ヒアリングの実施
  - 活動テーマの絞込みに有効

(3) プレゼンテーションの継続実施

- 分科会委員の他、他分科会委員や専門家等の招聘による発表も検討

#### 4. 分科会メンバーリスト(2007年3月31日時点)

##### (1) 座長・事務局

No		氏名	所属
1	座長	伊藤 毅	富士通株式会社
2	事務局	向井 健太郎	富士通株式会社
3	事務局	砂原 健利	富士通株式会社

##### (2) 情報システム分科会

No		氏名	所属
1	副座長	大塚 純一	日本アイ・ピー・エム株式会社
2	委員	五十嵐 健二	株式会社リスク・マネッジ
3	委員	伊藤 壽朗	株式会社イ・ステムコミュニケーションズ
4	委員	今井 雅文	沖電気工業株式会社
5	委員	内田 浩	株式会社アイアイジェイテクノロジー
6	委員	折笠 秀明	富士通株式会社
7	委員	川口 正起	大和ハウス工業株式会社
8	委員	木村 公秀	EMC ジャパン株式会社
9	委員	木村 義昭	日本ビジネスコンピュータ株式会社
10	委員	小澤 仁	日本アイ・ピー・エム株式会社
11	委員	小林 重樹	株式会社日立製作所
12	委員	小森 國隆	ソフトバンク BB 株式会社
13	委員	齋藤 孝行	富士火災海上保険株式会社
14	委員	坂場 俊夫	萩原電気株式会社
15	委員	高橋 良治	株式会社CSKシステムズ
16	委員	高屋 正裕	日本電気株式会社
17	委員	財部 透	アビ・ムコンサルティング株式会社
18	委員	土橋 直通	エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社
19	委員	永江 豊	株式会社日立製作所
20	委員	長嶋 和広	株式会社ワンビシア・カイズ
21	委員	中西 弘英	みずほ証券株式会社
22	委員	中村 全孝	沖電気工業株式会社
23	委員	藤原 史人	株式会社プロティビティジャパン
24	委員	本間 直哉	株式会社シ・イ・シ・ソリューションズ
25	委員	前田 耕一	日本ユニシス株式会社
26	委員	松永 文彦	大成建設株式会社
27	委員	森原 徳一郎	銀泉保険コンサルティング株式会社
28	委員	山越 清隆	アビ・ムコンサルティング株式会社
29	委員	山下 晋也	日本アイ・ピー・エム株式会社
30	委員	山本 匡	株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント
31	委員	吉田 博彦	伊藤忠エネクスサポ・ト株式会社

( 3 ) バックアップオフィス分科会

No		氏名	所属
1	副座長	関山 雄介	大成建設株式会社
2	委員	池田 竜隆	株式会社 ワンビシア - カイブズ
3	委員	市村 健一	富士通株式会社
4	委員	井上 和仁	有限会社井上企画
5	委員	植村 明生	みずほ証券株式会社
6	委員	笠原 誠	大成サ - ビス株式会社
7	委員	川村 丹美	株式会社シ - エ - シ -
8	委員	佐藤 茂夫	日本ユニシス株式会社
9	委員	角田 光弘	株式会社日立製作所
10	委員	羽仁 洋	大和ハウス工業株式会社
11	委員	三上 上	富士ゼロックス神奈川株式会社
12	委員	三友 和雄	大成サ - ビス株式会社
13	委員	山浦 政弘	日本アイ・ピー・エム株式会社

以 上